

国公立医科大学長  
国公立大学医学研究科長  
国公立大学医学部長  
関係機関の長  
殿

新潟大学教育研究院医歯学系長  
新潟大学医学部長  
染 矢 俊 幸  
(公印省略)

産科婦人科学分野担任教授候補者の推薦について (依頼)

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学では産科婦人科学分野担任の榎本隆之教授が、令和 4 年 3 月 31 日付けで退職することに伴い、同分野担任の教授候補者の選考を行うため、下記のとおり公募いたします。

産科婦人科学に関する高い臨床能力と実践経験、顕著な研究業績と教育経験、ビジョンと管理運営能力を持ち、医学部・大学院における教育研究への熱意を有する方の応募を期待しております。

関連する診療施設として、本学医歯学総合病院に総合周産期母子医療センターがあり、西島浩二教授が担当しております。同センターと協力・連携し、新潟における産科婦人科医療への熱意とリーダーシップを有する方の応募を期待しております。

つきましては、貴学及び関係機関の適任者について、御推薦いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 所 属 新潟大学教育研究院医歯学系 医学系列
- 2 担当学部・研究科 医学部・大学院医歯学総合研究科
- 3 職名・人員 教授 1 名
- 4 採用予定日 令和 4 年 9 月 1 日以降のできるだけ早い時期
- 5 応募締切日 令和 4 年 3 月 22 日 (火) 必着

6 提出書類（全て各1部。紙媒体の郵送に加え、全ての書類の電子データを下記メールアドレス又はCD-R等の電子媒体により送付すること）

- (1) 履歴書（別紙様式1）
- (2) 教育研究業績書（別紙様式2）  
著書，原著，総説，その他の論文，国内外学会のシンポジウム講演（自身が講演者であるものに限る），科学研究費，競争的研究資金等の取得状況（代表分と分担分を区別して記入する。代表分は研究費の総額，分担分は分担金の額を記入する。），特許の取得状況，学会賞その他受賞歴については，各項目とも新しい順に記載。各論文について掲載誌のインパクトファクター（2021年6月にリリースされた最新のJournal Citation Reports掲載）を記載すること。和文を入れる場合は英文と分けることとし，英文原著についてはコレスポンディングオーサーの論文に印をつけること。Web of Science ResearcherID及びh-indexを最後に必ず記載すること。
- (3) 原著論文等一覧（別紙様式3）
- (4) 原著論文等業績データ（別紙様式4）
- (5) 主な業績文献別刷 10編（※コピー等でA4版に統一し，教育研究業績書に印をつけること）
- (6) 上記(5)の主な業績10篇の各概要（様式自由）（100字程度×10）  
（※共著の場合，当該論文中で応募者自身が関与・貢献した部分を明記すること）
- (7) 過去5年間の手術業績（別紙様式5）
- (8) 代表的な手術の手術記録（写） 5件（※個人情報部分は黒塗りすること）
- (9) 学部教育，大学院教育，学位取得指導に関する実績と抱負（様式自由）（2,000字以内）
- (10) 研究に関する実績と抱負（様式自由）（2,000字以内）
- (11) 臨床，臨床指導に関する実績と抱負（様式自由）（2,000字以内）
- (12) 教室運営に関する抱負（様式自由）（1,000字以内）
- (13) 学位論文題名，取得大学名及び取得年月日

7 その他

- ・本学系の教員は，任期制（5年，再任可）としております。
- ・男女共同参画の視点から，業績が同等であれば女性を優先的に採用します。
- ・提出された書類は，選考の目的以外には使用いたしません。ご提出いただいた書類は返却いたしませんので，予めご了承ください。

8 提出先

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地  
新潟大学医歯学系総務課庶務係  
Tel. 025-227-2004 / Fax. 025-227-0715  
E-mail. jinji@med.niigata-u.ac.jp

※ 封書には「産科婦人科学分野担任教授候補者応募書類在中」と朱書きし，簡易書留など受け取り確認のできる方法にて送付願います。

最終選考に進まれた場合には，御講演を依頼しますので，御承知おき願います。

※ 本公募情報・様式等 URL

新潟大学医学部医学科ホームページ（医学科教員公募情報）

[https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/target/public\\_offering/index.html](https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/target/public_offering/index.html)

(様式 1)

## 履 歴 書

ふりがな				写 真 (縦4cm, 横3cm) ※写真裏面に氏名を記入。			
氏 名			性別				
生年月日 (年齢)	年 月 日 (満 歳)						
現 住 所	〒 電 : E-mail :						
学 歴							
年 月	事 項						
年 月							
年 月							
年 月							
職 歴							
年 月	事 項						
年 月							
年 月							
年 月							
学会及び社会における活動等							
現在所属している学会							
年 月	事 項						
年 月							
年 月							
年 月							
賞 罰							
年 月	事 項						
年 月							
年 月							
年 月							
職 務 の 状 況							
勤務先	学部, 学科等 (所属部局) の名称	担当授業科目名	毎週担当授業時間数				備 考
			専任	兼担	兼任	計	
上記のとおり相違ありません。							
令和 年 月 日	氏名			印			

# 教育研究業績書

令和 年 月 日

氏名

印

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書, 教材		
3 その他		
職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
1 資格, 免許		
2 特許等		
3 その他		

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表の年 月	発行所、発表雑誌等又は発 表学会等の名称	概 要
(著書) 1				
(学術論文 及びプロシーディング) 1				
(学会発表) 1				
(その他) 1				

外部資金の獲得状況						
年度	名称等	研究課題	代表 または 分担	代表者名 (所属機関)	獲得・受領額(千円)	
					直接経費	間接経費

直接経費総額：研究代表者分 千円

直接経費総額：研究分担者分 千円 (研究者が分担者として直接受領した金額)

Web of Science ResearcherID	
h-index	

## (注)

- この書類は、担当授業科目等に関連する教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び主要な著書、学術論文等(発行又は発表が予定されているものを含む。)について作成すること。
  - 「教育上の能力に関する事項」の「3 その他」欄には、1から2に該当するもの以外の事項について幅広く記入すること。
  - 「職務上の実績に関する事項」の「3 その他」欄には、1から2に該当するもの以外の事項について幅広く記入すること。
  - 「著書、学術論文等の名称」欄には、著書、学術論文及びプロシーディング、学会発表、その他の順に、それぞれ年月順に、番号を付けて記入すること。
  - 「概要」欄には、教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項の概要について、教育上の能力に関する事項の各欄、職務上の実績に関する事項ごとに記入すること。
- なお、著書、学術論文等が共著の場合は、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順に記入すること。
- 「外部資金の獲得状況」欄は獲得年度順に科学研究費補助金、各種研究助成金等について記入すること。
  - 「氏名」欄の印は、本人の署名をもって代えることができる。

様式3

原 著 論 文 等 一 覧					
氏 名					
類 別		発 表 年 別 論 文 数			合 計
		2011年以前	2012～2016年	2017年以降	
著 書	外 国 語	( )	( )	( )	( )
	日 本 語	( )	( )	( )	( )
原 著	外 国 語	( ) 【 】	( ) 【 】	( ) 【 】	( ) 【 】
	日 本 語	( )	( )	( )	( )
総 説	外 国 語	( )	( )	( )	( )
	日 本 語	( )	( )	( )	( )
症 例 報 告	外 国 語	( )	( )	( )	( )
	日 本 語	( )	( )	( )	( )
そ の 他	外 国 語	( )	( )	( )	( )
	日 本 語	( )	( )	( )	( )

それぞれ空欄に総数を記入し、さらに( )内に筆頭論文数を、  
【 】内にコレスポンディングオーサー論文数を記入すること。

様式4

原著論文等業績データ

氏名: \_\_\_\_\_

<p><b>種類</b></p> <p>(凡例) 1:原著 2:総説 3:症例報告 4:その他</p>	<p><b>論文番号</b></p> <p>教育研究業績書の番号順に記載</p>	<p><b>著者</b></p> <p>(凡例) 1:筆頭かつコレスポন্ディングオーサーである 2:筆頭であるがコレスポন্ディングオーサーではない 3:筆頭ではないがコレスポন্ディングオーサーである 4:その他 ※equal contributionは筆頭としてカウントする</p>	<p><b>雑誌名</b></p> <p>略誌名での記載も可</p>	<p><b>インパクトファクター</b></p> <p>2021年6月にリリースされた最新版のJournal Citation Reports掲載の数値</p>	<p><b>分野の四分位</b></p>	<p><b>被引用回数</b></p> <p>Web of Scienceのcitation数値とする ※ただし、Web of Scienceで数値データを取得できなかった場合は、「-」とする</p>	<p><b>発行年</b></p>	<p><b>備考</b></p>

※業績目録に記載した順番と内容が合致するように入力すること。

様式5

過去5年間の手術業績							
手術名	執刀者・指導的第一助手の別	氏名					合計
		年別手術件数					
		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年以降	
広汎子宮全摘術（子宮頸がん）	執刀者						
	指導的第一助手						
子宮悪性腫瘍手術（子宮体がん）	執刀者						
	指導的第一助手						
子宮付属器悪性腫瘍手術 （卵巣がん・卵管がん・腹膜がん）	執刀者						
	指導的第一助手						
外陰がん手術	執刀者						
	指導的第一助手						
（腹式または膣式）単純子宮全摘術（良性疾患）	執刀者						
	指導的第一助手						
（開腹または腹腔鏡下）子宮筋腫核出術	執刀者						
	指導的第一助手						
低侵襲（腹腔鏡下またはロボット支援下）子宮悪性腫瘍手術	執刀者						
	指導的第一助手						
低侵襲（腹腔鏡下またはロボット支援下）子宮全摘術（良性疾患）	執刀者						
	指導的第一助手						
子宮付属器摘出術または子宮付属器腫瘍摘出術（良性疾患）	執刀者						
	指導的第一助手						



腹腔鏡下子宮附属器摘出術または腹腔鏡下子宮附属器腫瘍摘出術（良性疾患）	執刀者						
	指導的第一助手						
子宮脱手術	執刀者						
	指導的第一助手						
帝王切開術	執刀者						
	指導的第一助手						
	執刀者						
	指導的第一助手						
その他	執刀者						
	指導的第一助手						
合 計							

・様式にすでに記載されている12手術については、必ず手術件数を記入して下さい。手術件数が0件の場合でも行は削除せず0を入力して下さい。

・複数の項目の手術を同一患者に同時に行った場合は1つの手術として登録して下さい。（例：子宮附属器腫瘍摘出術＋子宮脱手術を同一患者に同時に行った場合はどちらかの手術で登録）

・必要に応じて、手術名を追加し（ただし5つまで）残りは「その他」として記載して下さい。但し「子宮膈部円錐切除術」は含めないで下さい。

・必要に応じて、行数は、適宜増やして作成下さい。